

ゴぼかがわら

広報



シンボルマーク



地吹雪の観測機器を点検する研究員

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

地吹雪観測が終わる

国立防災科学技術センター新庄雪氷防災技術支所が1月22日から市内毘沙門地区を中心に行っていた、地吹雪の集中有人観測が1月30日で終わりました。同センター自慢のドップラーレーダーは、稲垣村福富地区で1月23日から観測を始め、また、ラジオゾンデ(気象観測用気球)

による上空の観測も行われました。

これからは、3月下旬まで自動機器による無人観測が続けられます。

研究員らは、集めたデータを解析し、地吹雪のメカニズム解明に役立てることになっています。

平成3年

2.15

No.729

人口と世帯

		前月比
男	24,051	(-38)
女	26,574	(-4)
計	50,625	(-42)
世帯数	15,241	(+11)

(12月31日現在 住民基本台帳)

農業の活性化をめざして

農業構造改善一般コンサルタント活動の 現地報告・講演会開かれる



農業の活性化をめざして開かれた講演会

去る一月二十九日、農業構造改善事業の実施に伴う、コンサルタント活動の現地報告・講演会が産経会館で開かれました。

これは、当市の農業活性化を目指して、(社)全国農業構造改善協会に「五所川原市における効用促進農業構造改善事業について」の調査、指導を依頼していましたが、このたび、そのコンサルタント意見書がまとまり、現地に対する報告を兼ね、講演会が開催されたもので、市や農業関係者など

約七十人が出席しました。

意見書は、第一章五所川原市農業活性化の基本方向、第二章新しい農業生産システムの形成、第三章バイオテクノロジーの活用による地域農業の振興方策から成っており、(株)東北地域文化研究所の笹森正所長、県農業試験場砂丘分場の中島一成分場長、弘前大学農学部奥瀬一郎助教授がそれぞれの章を執筆しています。

この日の講演会では、初めに佐々木市長が「今後はこの貴重な助言をもとに、

当市の農業振興に努めていきたい」とあいさつを述べました。

この後、笹森、中島両氏が五所川原市農業活性化の基本方向について講演し、今後の五所川原農業の一層の発展を図るためには、地域と経営者、技術、産地、銘柄という五つの要素をつくる運動を展開し、農業従事者に「やりがい」「生きがい」「骨折りがいい」のある農業を確立して行くことが必要などと強調しました。

続いて中島氏が新しい農業生産システムの形成について担い手の育成、生産組織の整備、情報ネットワークづくりの観点から述べ、奥瀬氏がバイオテクノロジーの活用による農業振興策などについて講演しました。

出席者らは専門家の意見、提言に熱心にメモを取りながら聴き入っていました。

最後に、出席者らから①小麦、そばに代わる高収益作物は、②野菜産地形成のため農協の指導強化を、③農業後継者の嫁問題などの質疑応答が行われ、講演会を終了しました。

元柔道世界チャンピオンの山下6段が佐々木市長を表敬訪問

去る1月23日、元柔道世界チャンピオンで東海大学柔道部監督の山下泰裕6段らが市役所を訪れ、佐々木市長を表敬訪問しました。

この日は、「剛柔館藤田道場」(藤田剛館長・姥薗)の道場開きに、東海大学柔道部総監督の佐藤宣践8段、東海大相模高校柔道部監督の林田和孝6段とともに講師として招かれていたもので、道場開きの前に、佐々木市長を訪問したものです。

佐々木市長は「日本柔道のレベルアップのため、後進の指導に頑張ってください」と激励すると、山下6段は「五所川原市は昭和52年の国体に一度訪れており、非常に印象に残っています。今後とも世界に通用する柔道を指導して行



佐々木市長(右)から激励を受ける山下6段(中)、左は佐藤総監督

きたい」と決意を語っていました。

この後山下6段らは、道場開きに出席し、西北地方から集まった小・中・高校生たち約80人とけいこを行いました。

「市豪雪対策本部」を設置

総合的な 雪対策に 取り組む



生活道路確保に夜を徹して行われている排雪作業

市では二月四日午前九時大雪によって行政サービスが低下したり、市民の生活に支障をきたすことのないようにするために、佐々木市長を本部長とする「五所川原市豪雪対策本部」を設置し、総合的な雪対策に取り組んでいます。

これは、二月一日夜から断続的に降り続けた雪が、市街地で百十四センチの積雪量となり、昭和六十三年二月以来、三年ぶりの本部設置となりました。

本部では、二月五日から二十日ごろまで幹線及び小路の排雪作業を行い、生活道路の確保に努めることになっていきます。

献血功労者に 日赤有功章を伝達

去る一月二十四日、市役所内助役応接室で日本赤十字社有功章の伝達式が行われました。

これは、同社の実施する献血事業において、多回献血者に対し、その功労を讃え日赤有功章を贈るもので、当市では平成元年度献血回数五十回以上の須賀義孝さん

の受章おめでとうございます。今後とも献血事業にご協力をお願いします」と祝辞を述べました。今回受章された方々は次のとおりです。(敬称略)

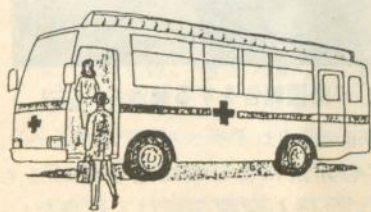
◎平成元年度

▽五十回以上(金色有功章) 須賀義孝(みどり町五丁目)

▽三十回以上(銀色有功章) 金田一均(石岡)、唐川潔(みどり町六丁目)、佐藤克幸(幾島町)、堀内ゆき子(柏原町)、伊藤誠(みどり町四丁目)、成田武津昭(下平井町)



小山内助役(中)から金色有功章を伝達される須賀さん(右)



観光案内板が完成



完成した観光案内板

五所川原市観光協会(丸海老祐造会長)が狼野長根公園駐車場の入口に建立していた「五所川原市観光案内板」が1月29日に完成しました。

これは、同協会が五所川原市の観光振興を図ろうと、市内の主要な観光施設等をイラストで紹介しているものです。

完成した案内板は、300万円の経費をかけて建立したもので、ヒバの丸太と銅板を使った高さが5.15m、幅4.50mのりっぱなものです。

また同協会では、昨年(1990年)の12月23日から2月15日まで旧ローターリーに高さ12mのイルミネーションを設置し、道行く市民の目を楽しませました。



釜芸教育長(右)に手渡す江良さん(左)

学校図書購入にと20万円寄付

(有)晃玄産業

市内桜田の(有)晃玄産業(江良法人代表取締役)では1月29日、学校図書購入に役立ててくださると20万円を寄付しました。

この日は、江良さんが市教育委員会を訪れ、釜芸市教育長に手渡しました。

江良さんは、これまで学校関係に寄付されており、関係者から大変感謝されています。

コミュニティカレッジが閉講



青森職業訓練短期大学校で行われた修了式

今年で4回目となるコミュニティカレッジ(地域振興大学)が1月26日、青森職業訓練短期大学校で修了式を行いました。

これは、社会人を対象にコンピュータ教育を行い、高度情報化社会に対応できる人材育成をめざして、市教育委員会が同校の協力を得て昭和62年から開いているものです。

この日は、最後の講義に続いて行われた式では修了者全員に修了証書が釜芸市教育長から手渡されました。

海外青年協力隊 任期を終えて帰国

—みどり町の菊池さん—

国際協力事業団青年海外協力隊員としてアフリカのタンザニア連合共和国に派遣されていた菊池武則さん(市内みどり町4丁目・NTTむつ支店勤務・36歳)が1月25日、市役所を訪れ、佐々木市長に帰国報告をしました。

菊池さんは、昭和64年1月から今年の1月までの2年間、タンザニアで電話線の局外設備保守の技術指導を行ってきたものです。

佐々木市長は「2年間本当にご苦労さまでした。貴重な体験であったと思います。この体験を国際交流の進展に生かしてください」と労を



佐々木市長(右)に帰国報告をする菊池さん(左)

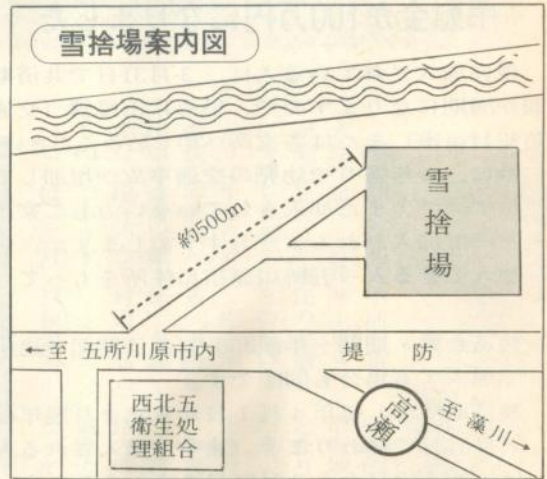
ねぎらうと、菊池さんは「タンザニアの人たちは貧しいけれども非常にまじめで心引かれるものがありました。今後も交流を続けて行きたい」と語っていました。

除排雪作業についてのお願い

市豪雪対策本部

通勤通学等の生活道路確保のため、次のことについてご協力くださるようお願いいたします。

- ①道路には雪を出さない。
道路に雪を捨てますと、救急車や、消防車等緊急車両の通行にも支障が出るような事態が懸念されますので、除排雪の前後を問わず道路には絶対雪を捨てないでください。
- ②路上には駐車しない。
路上駐車のため除排雪作業に支障をきたしています。特に夜間の駐車が多いため、時には除排雪作業を断念しなければならないこともありますので路上駐車はしないでください。
- ③除排雪作業中の車両には危険ですから絶対近寄らない。
除排雪作業中の車両に近寄りますと巻き込まれるおそれがあり危険です。また、作業能率が低下しますから除排雪作業中の車両には、絶対近寄らないでください。
- ④雪を捨てるときは、市が指定している「高瀬雪捨場」(図参照)をご利用ください。



▷利用期間 3月31日まで
 ▷利用時間 午前8時30分～午後4時30分
 ※日曜・祝日に雪捨てをする時は、前日に「除排雪対策本部」☎35-4321～2へご連絡ください。

青少年を非行から守ろう

保護者の皆さんには、今春進学や就職をされる子供さんがいると思います。

この時期は、卒業シーズンを控え、解放感などからせっかく身につけた道徳が忘れがちになり、特に好奇心から酒、タバコ、万引、異性関係等の非行に走りやすくなります。

このため、非行防止に対する皆さん方の「愛の一声」が、青少年の健全育成に大きな力となります。お互いに、非行を未然に防止し「後で悲しまない」ためにも、次のことを実践しましょう。

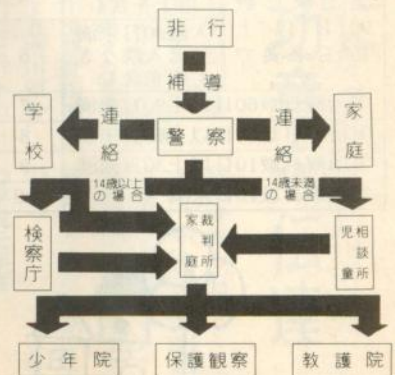
- ▷他人の子供でも「愛の一声」をかけて指導しましょう。
- ▷少年に有害な環境を与えるものについては、皆さんの力で排除しましょう。
- ▷「自分で悪い子だ」と思っている少年ほど非行に走りやすいものです。周囲で励ましてやりましょう。



※青少年の非行や、有害環境、たまり場等、何かお気づきのことがありましたら、どんなことでも遠慮なくお知らせください。

◎連絡先
 市青少年対策室・市少年指導委員協議会
 (☎352111番内線355番・342941番)

万引きなどをして補導されると!



交通災害共済

家族そろって加入しましょう

◎2月1日から予約受付

弔慰金が100万円になりました

現在加入されている人は、3月31日で共済期間が満期になりますので、早めに市民課(交通防犯対策室)または各支所へ申し込みください。

特に、お年寄りや幼児の交通事故が増加していますので、まだ加入されていない方もご家族そろって加入されるようおすすめします。

▷加入できる人—五所川原市に住所をもっている人

▷共済会費・期間—年額350円(共済期間の途中で加入する場合も同額です)

共済期間は、毎年4月1日から始まり翌年の3月31日で終わります。(途中で加入される人は、加入の日から3月31日までとなります)

▷その他—小・中学校の児童生徒については、各学校を通じて受け付けをしています。保育所、職場、町内会、各種グループなど20人以上が加入される場合は、団体の取り扱いをします。

◎会費

一般(年間) 350円

学童団体(〃) 300円

(学校などで20人以上とりまとめたもの)

一人一口加入です。

◎共済見舞金の額

災害の程度	等級	金額	
死亡した場合	1	1,000,000	
実治療日数 180日以上	入院 180日以上を含む	2	150,000
	入院 90日以上 180日未満を含む	3	130,000
	入院90日未満又は入院なきものを含む	4	110,000
実治療日数 90日以上 180日未満	入院 90日以上を含む	5	80,000
	入院90日未満又は入院なきものを含む	6	60,000
実治療日数60日以上90日未満	7	45,000	
実治療日数30日以上60日未満	8	35,000	
実治療日数10日以上30日未満	9	25,000	
実治療日数10日未満	10	15,000	



平成3年度 市・県民税の申告相談

税の正確を期するため、必ず申告してください。ようお願いします。

会場は次のとおりです。

地区	月日	曜	対象区域	時間	相談会場
松島	2・21	木	吹畑 石岡(田園町含む) 漆川(十川町含む)	9:20~ 15:00	コミュニティセンター松島
	2・22	金	一野坪・太刀打 米田		
	2・25	月	水野尾・唐笠柳 金山		
栄	2・26	火	みどり町	9:20~ 15:00	コミュニティセンターさかえ
	2・27	水	稲実・姥落		
	2・28	木	七ツ館・広田		
毘沙門	3・1	金	毘沙門	9:20~ 15:00	毘沙門・長富 コミュニティセンター
	3・4	月	長富		
長橋	3・5	火	野里・豊成・福山	9:20~ 15:00	コミュニティセンター長橋
	3・6	水	戸沢・松野木		
	3・7	木	浅井・神山		
本	3・8	金	寺町・川端町 小曲・長橋橋元 新宮町・新宮岡田 新宮松元	9:00~ 15:00	市民文化会館
			3・11		
	3・12	火	幾世森・柏原町 鎌谷町・一ツ谷 鳥森・下り枝 弥生町・布屋町 幾島町		
			3・13		
	序	3・14	木		
3・15				金	松島町・下平井町 湊・湊団地

※申告書は、申告相談会場に備え付けしてあります。

市の機関は
一部を除いて
第2・第4土曜日は
休みです。

平成3年度 奨学生を募集

—(財)五所川原市教育振興会—

教育振興会では、次の要領により平成3年度の奨学生を募集します。

希望する人は、在学している学校を経て市教育委員会総務課へお申し込みください。

▷申し込み期間 2月1日から2月28日まで

▷応募資格 次のすべてに該当する人として。

- ①平成3年4月に高等学校または大学に入学志望の人
- ②人物、学業ともに優秀で、かつ健康であるが著しく学資の支弁が困難と認められる人
- ③市内に在住している人
- ④過去3か年の全教科の平均成績が3.5点(5段階評価)以上の人

▷貸与金額

- ①高等学校…公立、私立とも入学料および授業料相当額
- ②大学…公立、私立とも入学支度金として40万円限度

▷返還方法

- ①高等学校…卒業の翌年から、奨学金を受けた期間の倍の期間以内。
- ②大学…卒業の翌月から6か月経過後、就学期間の倍の期間以内。

※なお、詳しくは市教育委員会総務課(☎352111番内線293番)へどうぞ。

第2回 北五森林セミナー開催

▷日時 3月5日(火)午後1時～3時

▷場所 市中央公民館2階視聴覚室

▷内容 講演会「青森ヒバの不思議」

講師 岡部敏弘氏(県工業試験場主任研究員)

▷受講料 無料

▷参加募集人員 80名

▷申し込み方法 2月26日までに北地方農林事務所林務課(☎342111番内線240番)へ。

休日・夜間の急病は
在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番
(救急医療部会)

医療職員募集

—西北中央病院—

▷募集職種及び募集人員

- 作業療法士 2名
- 診療放射線技師 1名

▷応募資格 作業療法士及び診療放射線技師の資格を有する人(今春卒業見込みの人を含む)

▷締切 2月25日(月)

▷試験日 3月9日(土)

※詳しいことは、市立西北中央病院管理課庶務係(☎353111番内線279番)へお問い合わせください。

平成3年度学生募集

—県立青森高等技術専門校—

▷募集コース ○情報処理及び機器関係○環境システム関係○建設施工管理関係○インテリアサービス関係

▷応募資格 平成3年3月卒業(見込み者)以上の者

▷募集人員 各若干名

▷期間 1年間

▷願書受付期間 3月8日まで

▷選考日 3月13日(水)

※詳しいことは、本校(青森市野尻字今田43-1 ☎0177385727番)へどうぞ。

冬期踏切事故防止について

—JR五能線営業所—

冬期間の踏切事故を防止するため、次のことを守りましょう。

- 1.踏切道通行の際は、必ず一旦停止、左右確認し通行しましょう。(昼夜ともラッセル車が通ります)
- 2.吹雪等で見透しが悪い場合は、しっかり確認し、速やかに通行しましょう。
- 3.脱輪した場合は、ただちに列車をとめる手配を行いましょう。また、踏切内でトリコ等になった場合、踏切遮断棒はフロントガラスを伝わって上がるので、あわてず進んでください。



体験してみませんか

からだにやさしい「血漿成分献血」

この献血は、いったんおあずかりした血液から血漿だけを分離し、赤血球などはそのままからだの中にお返りする献血方法です。今年度、当市ではすでに延べ20名の方が体験しています。

期 日	時 間	場 所
3月7日 (木)	午前10時から 午後4時まで	市保健センター

なお、この献血は30分ほどかかります。献血していただける方、詳しく内容をお知りになりたい方は、市衛生課(☎352111番内線272番)までお問い合わせください。

皆さんのご協力をお願いいたします。

乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:45~13:00まで

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。

3歳児は尿検査も行いますので、当日小便に尿を入れてもってきてください。

※注意 ①6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配布しますが、当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口でセットをもらいにきてください。(ただし生後6ヵ月、7ヵ月児に限る。)②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんをご遠慮ください。

月 齢	対 象 児	期 日	内 容
3ヵ月児	H2年11月生	3月12日(火)	健康診査
6ヵ月児	H2年8月生	3月19日(火)	健康相談
1歳児	H2年2月生	3月25日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	H元年9月生	3月26日(火)	健康診査
3歳児	S62年11月生	3月13日(水)	健康診査

保健センター相談日

3月1、8、15、22、29日です。(毎週金曜日)。

▷時間 午前10時~午後3時

▷内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

胃・大腸がん 集団検診のお知らせ

市では、平成3年度の胃・大腸がん集団検診を下記のとおり実施します。がんを恐れて早期発見を遅らせるより、検診で安心を得るようにしましょう。

▷対象者 市内に居住する40歳以上の方(昭和27年3月31日までに生まれた方)ただし、妊娠している方、職場等で検診を受けられる方は除きます。

▷申し込み期間 3月5日(火)まで

▷申し込み先 保健協力員、市役所各支所、市衛生課へ(申し込み用紙を備えてあります)

▷料金 ○胃がん検診①五所川原市国民健康保険加入者500円②その他の保険加入者1,000円○大腸がん検診—健康保険の種類にかかわらず200円。料金は検診日に会場で徴収。(ただし、70歳以上の方、生活保護世帯の方、市民税非課税の方は無料。当日、証明書を提出のこと。)

▷注意事項 大腸がん検診のみの受診はできません。

▷受診月日 4月15~19日、22~26日、5月7~10日、27~31日、7月8~12日(申し込み者が多数の場合は10月にずれ込む場合もあります)のうちから市が受診日、会場等を指定し、後日個人通知します。

※詳しいことは、市衛生課(☎352111番内線268・272番)へどうぞ。

川柳

川柳岩木吟社

人間の裏を見てきた目を洗う

西光

稼がねばならぬドレスは肌を見せ

草林

真直ぐに歩いて頼りない男

北歩

威勢よく魚河岸競り値吊り上げる

野泣子

人間のドラマを閉じる棺の釘

一閃

退院日みな飛びそうな千羽鶴

一策

